

「全世代型融合研究会をめざして〜ザ・ジェネレーションズ〜」

千葉県新聞教育研究会

みなさん こんにちは。千葉県新聞教育研究会(略称「千新研」)です。

未だに新型コロナウイルスの収束も見えない毎日ですが、会員は自身の持ち場でもある学校で、子ども達と共に新聞を媒体にした授業研究や実践を積んでいます。

では、昨今の活動状況をお話しさせていただきます。

(1)千葉県新聞コンクールの開催と審査・運営に携わる

決して、ゴールが、コンクールではありませんが、モチベーションを上げるのにはコンクールは重要なアイテムだと思います。

下掲は昨年度末に開催された「第三回CHIBAこども新聞コンクール」(千葉日报社と当研究会との共催)入賞作品展示会の様子です。

残念ながら、表彰式は中止となりましたが、

『AEON 蘇我IIアリオ』さんのご協力で開催することができました。

きっと、制作者の児童・生徒は式は無くなりましたが、展示されたことで、意識も土気も上がったのではないでしょうか。県内の学校から多くの作品も寄せられ、徐々に千葉県の新聞力も上がってきている手応えを感じています。

(2)毎月第三水曜日の月例会の開催

コロナ禍にありますが、次年度の全国大会を目指して、全日警ホール(全国大会のメインホール)の一室をお借りして、換気やマスク着用の徹底を図りながら、対面で例会を開いてきています。

例会の中では、各人の実践報告や会員が講師となり、ワークショップ等をおこない、次年度のためのトレーニングを積んでいます。

まずは開催地が実力を付けなければ本末転倒と言う思いからです。

全国の仲間の力を千葉県に結集していただき、小さな力が大きな力に変容できるようにお力添えいただくと大変嬉しいです。

(3)世代も校種も増強に……

プチ自慢ですが、千新研は小・中・高現役教員及び各界で活躍されてきたOBやOGで構成されています。

今年度は、小学校や高校からも仲間が加わり、層の厚さが強みと考えております。人数の多さが強味ではなく、多様な意見や考え方に柔軟に対応できる組織をめざしております。

この多様性や柔軟性を武器に次年度の全国大会に向けて邁進して参りたい所存です。是非、『二〇二二年 プラス・ワン 千葉県新聞教育研究大会』へお出かけ下さい！

(文責:事務局長 武藤和彦)

